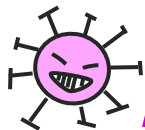


感染症に気をつけよう!!

2023年12月号

横浜市衛生研究所
感染症情報センター 12月4日発行



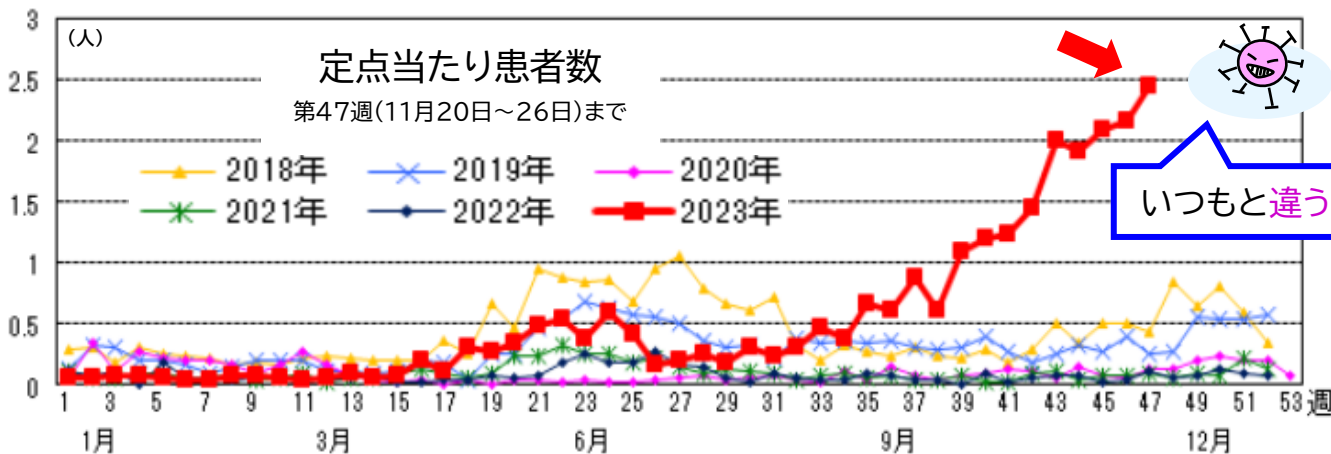
横浜市内の感染症流行状況



感染症*	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
	発生	増加	
咽頭結膜熱*	発生	増加	例年夏にピークがありますが、7月下旬からの増加傾向がまだ継続しています。【 ちらし 】
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎*	発生	増加	10月下旬以降、増加が続き、過去5年間の同じ時期に比べて多くなっています。【 18.4号 】
インフルエンザ**	注意報	増加	例年の同じ時期に比べて、多く発生しています。学級閉鎖も行われています。【 臨時情報 】
梅毒**	発生	横ばい	20～50代を中心として、報告数の多い状況が続いています。【 政府広報 動画 】【 無料・匿名検査 】

* 国立感染症研究所 ** 厚生労働省

今、気をつけたい感染症 咽頭結膜熱



アデノウイルスが原因の、子どもに多い感染症。主な症状は発熱・のどの痛み・結膜炎で、3～5日間ほど続く。免疫機能の弱い人・乳幼児・高齢者などでは、重症になる場合もあるんだって。

患者の鼻水・だ液・便等にいるウイルスが、通常飛沫感染、あるいは手指を介した接触感染でうつる。予防には、流水と石けんでの手洗い・うがいが大切。学校は、主な症状が消えた後2日が過ぎるまで出席停止とされているよ。

